

# 愛知登文会ニュース 第25号

令和2年1月23日号

## 1 事業実施報告「あいちのたてもの博覧会」(2019年度)

あいちのたてもの博覧会(建物特別公開)は、今回で6度目の開催となりました。今年度は、県内50か所の建物を公開対象とし、建物見学や建物解説を行うとともに、ツアーやイベントなど数々の企画を実施しました。建物解説の参加者は延べ1,288名の方々に足を運んでいただきました。

### プレミアム企画

10/13(日)・10/14(月・祝)  
10/19(土)・10/20(日)・11/23(土)

11/2(土) 北尾張地方  
11/4(月・休) 名古屋市  
11/9(土) 西三河地方  
11/10(日) 知多地方  
11/17(日) 東三河地方  
11/24(日) 尾張地方



算家住宅(名古屋市)

### ◆あいたてカード

見学の記念品として、トレーディングカード「あいたてカード」を制作し、当日の参加者に配布しました。あいたて博以外でも配布・活用いただけるよう、所有者・管理者の方にお預けしてあります。通常公開されている建物については、ぜひお訪ねの際にお持ち帰りください。



### ◆プレミアム企画

これまで人気の高かったツアーを発展させ、「プレミアム企画」(有料)として開催しました。名料亭の食事や、雅な茶席、こども能楽や専門家によるディープなツアーなど、建物の魅力をいっそう楽しめる企画です。参加者からは、「街中をぐるっと回れて大人の遠足みたいだった。お茶の接待もうれしかった」「能のお囃子やお話など貴重な体験ができてよかった」といった好評のお声をいただきました。

#### ◆プレミアム企画 実施箇所

小栗家住宅、名古屋陶磁器会館、日本陶磁器センター、滝学園本館・講堂・図書館、柴田家住宅、寛家住宅



書院にて望州楼の弁当をいただく(小栗家住宅)



滝文庫講堂の見学(滝学園)



お茶のおもてなしと解説(柴田家住宅)

### ◆11月2日(土)～北尾張地方～

犬山市と扶桑町で7件の文化財を公開しました。住宅中心の公開であり、参加者からは「お住まいの方々の建物への愛情が伝わってきて温かい気持ちになった」「こちらの家に入るとホッとする。子どものころの感覚が湧き上がってくる」といった感想をいただき、住宅ならではの温かさを感じられたようでした。また、初参加の寛王寺では、本堂を含む4件の文化財を巡る盛りだくさんの見学会となりました。

#### ◆この日の公開箇所

旧堀部家住宅、三井家住宅(米清旧宅)、川村家住宅、旧小守家住宅、尾関家住宅、川田家住宅、寛王寺



中庭の見学(旧堀部家住宅)



外観の解説(尾関家住宅)



庫裏の吹抜け空間の解説(寛王寺)

### ◆11月4日(月・休)～名古屋市～

市内の文化財8件を公開しました。うち3件は校舎、講堂といった学校建築です。愛知学院大学と南山学園の校舎はともに西洋建築であり、アーチやレリーフの細やかな意匠が目を引きまます。一方名古屋大学の講堂は大空間とそれを実現するためのコンクリートの太い柱が圧巻です。中には卒業生の方がみえ、「非常に懐かしい気持ちになった。建物の良さを改めて知った」と、思いを馳せていました。

#### ◆この日の公開箇所

名古屋大学豊田講堂、愛知学院大学楠元学舎第1号館、日本福音ルーテル復活教会、名古屋陶磁器会館、中村公園記念館・豊頌軒、南山学園ライネルス館、中濱家住宅、蓮教寺



鳶の絡まる外観(愛知学院大学)



外観の解説(南山学園)



土蔵の三重扉の解説(中濱家住宅)

◆11月9日（土）～西三河地方～

岡崎市内の文化財6件を公開しました。旧石原家住宅では、毎年所有者主催により「文化財の音景」を同時開催しています。華、写真の展示や、「音浴音乐会」「書描」のパフォーマンスなどが行われ、日暮れとともに暗くなる伝統建築の雰囲気やアートをともに味わえます。参加者からは「心に響く歌声と生け花が心に残った」「建物と音楽が不思議な共鳴をされていてよかった」といった声がありました。

◆この日の公開箇所  
八丁味噌本社事務所、日本福音ルーテル岡崎教会、旧石原家住宅、善立寺、旧本多忠次邸、旧愛知県第二尋常中学校講堂



井戸の水くみ実演（旧石原家住宅）



本堂の屋根の解説（善立寺）



舞台の見学（旧愛知県第二尋常中学校）

◆11月10日（日）～知多地方～

知多市を中心に4市町8件の文化財を公開しました。初参加の窯のある広場・資料館では、煙突の修復工事にあたる手法について解説いただき、展示だけではわからない建物を残す強い意志が感じられました。参加者からも「説明が素晴らしく、プレミアムな企画だった」との声もあり、大変充実した見学会でした。通常公開されているからなのか、参加者が少なかったことが悔やまれます。

◆この日の公開箇所  
三井家住宅（旧庄屋）、中定商店、野間郵便局旧局舎、窯のある広場・資料館、木綿蔵ちた、知多岡田簡易郵便局、旧岡田医院（雅休邸）、旧中七木綿本店



南土蔵の解説（三井家住宅）



大煙突の解説（窯のある広場・資料館）



外観の解説（知多岡田簡易郵便局）

◆11月17日（日）～東三河地方～

豊橋市を中心に3市9件の文化財を公開しました。豊橋市民俗資料収蔵室（旧多米小学校）は平屋建ての木造校舎です。木枠にはめられた窓ガラスや木製の長い廊下など、内部がきれいに保たれており、その懐かしい姿に参加者からは「今年の建築の学びでは最高に良かった、感動した、トップクラスですね」「竹の敷居や陶器の戸車など実物が見れてよかった」といった感想が聞かれました。

◆この日の公開箇所  
豊橋市公会堂、豊橋市民俗資料収蔵室、下条旧ポンプ室・大江川水道橋、小鷹野旧ポンプ室・多米旧配水池、トヨテック本社社屋、旧今泉医院、白井家住宅、大野宿鳳来館、旧料亭菊水



昔の教室で解説（豊橋市民俗資料収蔵室）



屋上の見学（豊橋市公会堂）



大ホールにて解説（大野宿鳳来館）

## ◆11月24日(日)～尾張地方～

一宮市など3市町7件の文化財を公開しました。墨会館では、平成27年度の「こども文化財ガイド事業」以来、特別公開では小学生がガイドを務めています。棒読みにならないよう、クイズを挟むなど、シナリオに工夫を凝らしていました。この経験をきっかけに、今後一層建物に親しみを持ってもらうことを期待します。

◆この日の公開箇所  
旧山繁商店、瀬戸永泉教会礼拝堂、旧湊屋、旧林家住宅、墨会館、甘強味淋本社事務所、山口家住宅



床の間の解説(旧林家住宅)



中庭の解説(墨会館)



主屋外観の見学(甘強味淋本社事務所)

## 参加者の意見・感想 建物解説参加者へのアンケートより

## ◆ 見学・解説について ◆

- ・建物を観るのはその当時をしのぼれるし、英知ができ、思わぬ物に出会えて楽しい。
- ・解説と自由見学とどっちに集中しようかと悩んでしまうほど、魅力が詰まっていると感じた。
- ・先生のお話は3回目だが、全回違っていてどんどんおもしろくなっている気がする。
- ・長時間の話が長く感じることなく、時間を忘れるくらいおもしろかった。
- ・見るのと聞くのとはだいぶ違う。講師の先生にわかりやすく丁寧に説明していただけた。
- ・今回のようにツアーのプレミアム企画を継続してほしい。また、カードを集めて回るような自由散策もできるようにしてほしい。
- ・建物の沿革や建築概要がのっている資料が嬉しい。
- ・図面や地図を見せていただけると嬉しい。
- ・たくさん写真を撮らせてほしい。

## ◆ 企画・運営について ◆

- ・もっとPRされると多くの方が参加されてさらによくなるのでは。
- ・若い人にもっと興味をもってもらえるような広報ができればと思う。
- ・建物解説の回数がもう少しあると嬉しい。
- ・建物にちなんだワークショップがもっとあると楽しい。
- ・もう少し少人数だと良い。
- ・自由見学をもっと増やしてほしい。
- ・1つの地域で2日以上開催されると嬉しい。
- ・規模が拡大して公開の輪が広がるとよい。
- ・岐阜、三重、滋賀、静岡と組んでたくさんやってほしい。
- ・年に数回やってほしい。
- ・もっとポスターやパンフレットを置いてある場所を増やしてほしい。
- ・古い建物が残りにくい日本で、ぜひ貴重なものが残るよう活動を応援したい。

## 編集後記

今号では、あいちのたてもの博覧会のご報告をしました。アンケートでは、たくさんのご好評のお声とともに、企画・運営に関してのご要望もいただきました。当事業は、所有者、解説者、会員の皆様をはじめ、たくさんの方のご協力のもと開催しています。今後の継続開催、認知度アップのため、引き続きご協力をお願いいたします。

## 愛知登文会ニュース 第25号

発行日：令和2年1月23日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

〒461-0005 名古屋市東区東桜2丁目9-34 成田ビル高岳3F

名古屋テレビ塔株式会社内

(TEL) 052-325-2951 (FAX) 052-325-2952

(E-mail) info@aichi-tobunkai.org

(HP) http://www.aichi-tobunkai.org

(Facebook) @aichi.tobunkai

(Twitter) @aichitobunkai (Instagram) aichitobunkai